

・ブースの基本コンセプト

新工法である下水道自立マンホール更生工法「ジックボードVG工法」前面に推し、施工を分かりやすいアニメーションで表現した動画を放映することで来場者さまの興味を引き、足を止めていただけるようなブースづくりをしました。新規開発工法「ジックテクトVE工法」をはじめとした各塗布型ライニング工法のサンプルや、「ジックボードT工法」の大型模型も展開しています。

・今年のこだわり

①新工法「ジックテクトVE工法」は従来のFRP防食工法にあるガラスマットへの含浸脱泡工程が不要なビニルエステル樹脂塗布型ライニング工法です。特殊ガラス短繊維補強材を配合したビニルエステル樹脂は、ローラーやコテ、刷毛などの一般的な塗装資材で防食被覆層を形成できます。

②新工法「ジックボードVG工法」は腐食や老朽化により耐荷力

が期待できない既設マンホールに対して、更生材のみで新設マンホールと同等の性能を有する自立マンホール更生工法です。従来工法と比較して施工の簡略化と工期短縮を図りました。非開削で施工が可能です。夜間や休工日に道路解放が可能です、作業ヤードの確保が省スペースで施工ができます。

③シートライニング工法「ジックボードT工法」は、高耐久性ビニルエステル樹脂FRP板の裏面に立体グロスを一体成型した成型板

【ジックボード】
を、特殊無機系モルタルを介して躯体コンクリートに固着・一体化した防食被覆層を形成させるコンクリート防食工法です。
・来場者へのメッセージ

私たちは、国民
生活に欠かせない

水インフラを守るため、防食技術のさらなる向上に取り組んでいます。これまでに培ってきた補修事業の経験やノウハウを活かし、新しいコンクリート補修技術の開発にも力を入れています。老朽化が進むインフラの修復や、災害への備え、日常的な維持管理といった日本社会の課題に真剣に向き合い、技術の進化とお客さまの価値創出に努めながら、社会に貢献してまいります。



日本下水道新聞 2025年7月23日発刊 24面

信頼の技術力でニーズに的確に応える専門集団

協 会 会 員

[illegible]

●JERコンクリート補改修協会認定工法●

【水道関連施設】

- ・ZモルタルSシリーズ(無機系被覆工法)
- ・ジックレジンNP143工法シリーズ(有機系被覆工法 硬質塗膜)
- ・ジックアクア149工法(有機系被覆工法 軟質塗膜)

【下水道関連施設】

- 「塗布型ライニング工法」
- ・ジックテクトVE工法
(ビニルエステル樹脂補強材配合仕様)
- ・ジックレジンJE工法
(エポキシ樹脂)
- ・ジックライトⅢ工法
(臭気低減タイプエポキシ樹脂)
- ・ジックライトⅡ工法
(厚塗りタイプエポキシ樹脂積層仕様)
- ・カーボンセラミックJE工法
(エポキシ樹脂モルタル仕様)
- 「シートライニング工法」
- ・ジックボードGR工法
(ビニルエステル樹脂FRP複層板)
- 「耐硫酸モルタル防食工法」
- ・ZモルタルKS500工法(硫酸性モルタル)他

【関連材料】

補修材等各種取り揃えています。
詳細は、お問い合わせください。